

## 福祉事業に篤志寄付 !! ありがとうございました。

この度、本町宮前町に在住の小田律子氏から福祉事業に役立ててくださいと、10万円の篤志寄付がありました。

この寄付は、福祉事業基金に積立し、本町福祉増進のため、各事業に有効活用させていただきます。  
大変ありがとうございました。



## 佐呂間高校3年生『佐呂間町の食文化体験・進路講話』

～佐呂間町の食の素晴らしさを知り、生まれ育った故郷に誇りを持って～

12月12日、佐呂間高校3学年の総合的な学習の時間に『佐呂間町の食文化体験・進路講話』が行われました。

「サロマ湖悠林館」を経営している大石税氏（株式会社愛生の杜取締役）の「卒業生に佐呂間町の食の素晴らしさを知ってほしい」「生まれ育った故郷に誇りを持ってほしい」という熱い思いから実現し、3年目となりました。

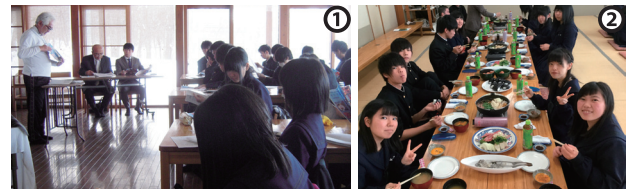
講演として、佐呂間漁業協同組合長の阿部與志輝氏による、養殖業が安定するまでの困難とそれに立ち向かった漁師さんたちの話。トップファームグループ取締役企画部長の井上和明氏による、命をいただくこと。「農業HACCP」の認証により、牛を大切に育てることや安全安心な牛肉製品を消費者に届けることなどを教わりました。

さらに、㈱カネテツ谷川水産にて海苔の製造過程を見学し、代表取締役社長の谷川哲也氏より、海苔養殖の困難に立ち向かった話や海苔の養殖から製品になるまでの過程を説明していただきました。

昼食には、食文化体験として、カキ・ホタテ・海苔・牛肉などの佐呂間町の食材を活かした料理をいただき、生徒達は、心から特産品の良さやありがたさを実感していました。

生徒たちの作文には、「私は、今まで当たり前食べていたサロマの食材にこんなに価値があることを知りませんでした。お話を聞いて感動した点や尊

敬する点がたくさんありました。」「今回の学習で、何があっても懸命に生きて自分の夢を実現するためにも頑張り続けようと思いました。そして、今過ごしている当たり前の事が大切なのだと改めて実感する事ができました」という感想が書かれていました。



- ①真剣な眼差しで学習に取り組む生徒たち
  - ②昼食では、佐呂間の食材の素晴らしさを実感しました。
  - ③海苔の製造過程を見学する高校生と谷川社長。
- ※写真・記事提供：佐呂間高校 工藤聡教諭

# 『佐呂間町地域見守り活動に関する協定』 締結！ ～住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように～

1月13日、町と北海道新聞紋別地区会及び町内の北海道新聞販売店との『地域見守り活動に関する協定』が締結されました。

この協定は、佐呂間町民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、町と道新紋別地区会、町内道新販売店が連携し、高齢者などの孤立防止や支援が必要な方を把握することにより、地域福祉の向上を図ることを目的として締結されました。

川根町長は、「町民がいつまでも佐呂間町に住んでいただくための複合的、重層的な見守り・安否確認の仕組みを構築し、更なる事故などの早期発見を図りたい」と話されました。



## 佐呂間ジュニアブラス

### 『第33回全道スクールバンドフェスティバル札幌大会』 出場!!

1月15日、佐呂間ジュニアブラスが、「札幌コンサートホール kitara」で開催された、『第33回全道スクールバンドフェスティバル札幌大会』に出場しました。

佐呂間ジュニアブラスが、この大会に出場するのは21年ぶりのことで、児童達は、「このような機会を与えてくださった全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも皆さんに楽しんでもらえるような音楽づくりを目指して頑張ります。」とこれまで支えてくれたの方々への感謝の気持ちとこれからの抱負を話してくれました。

2月26日には、今年1年の活動の集大成となる『レギュラーコンサート』が、佐呂間小学校体育館で開催される予定です。皆さんもこの機会に佐呂間ジュニアブラスの素敵な演奏を聴きにきてください。



▲写真：憧れの会場で記念撮影する団員18名と講師の渡邊先生／写真提供：関東正浩さん